

大王グループの森林経営に関する方針について

大王グループは、「森林と土地利用に関するグラスゴー首脳宣言（Glasgow Leaders' Declaration on Forest and Land Use）」（※注 1）を支持し、2030 年までに森林減少を終わらせることに貢献します。

森林減少に歯止めをかけて、パリ協定が掲げる 1.5 度目標達成を支援するため「森林に関するニューヨーク宣言（New York Declaration on Forests: NYDF）」に準拠した次の取組みを持続してまいります。

- 1) 保護すべき天然林は伐採しません。天然林を伐採して農地や植林地に転換することなく天然林エリアとして維持することで天然林および、そこに生息する絶滅危惧種を始めとする動植物を保護し、生物多様性の保全を推進します。
- 2) すべての人の人権を尊重し、差別や偏見のある行為を一切行いません。また、児童労働、強制労働はこれを一切認めません。
- 3) 先住民コミュニティとの対話を継続し、森林認証標準（FSC®、PEFC 等）に則り持続可能な森林経営に努めます。
- 4) NDPE（森林減少禁止、泥炭地開発禁止、搾取禁止＜No Deforestation, No Peat, No Exploitation＞）方針に示されている基準を遵守して森林拡大に努めます。
- 5) TNFD（※注 2）に準拠した情報開示を支持し、生物多様性に関する情報開示に努めます。
- 6) 植林木の生長量拡大のための品種改良に努めると共に、CO₂ 吸収、固定化に寄与する植林木の生長量拡大と植林地の拡大に努めます。

※注 1) イギリス・グラスゴーで開催された COP26（国連気候変動枠組条約第 26 回締約国会議）の開幕 2 日目となった 2021 年 11 月 1 日に、国・地域の首脳や代表が、2030 年までに森林減少を食い止めるために各国が協力することを宣言。

※注 2) TNFD（Taskforce on Nature-related Financial Disclosures：自然関連財務情報開示タスクフォース）は、組織が自身の経済活動における自然環境や生物多様性に関するリスクと機会を評価し財務に与える影響を開示する枠組みを決めるタスクフォースとして 2021 年 6 月に設立された。β 版のレビューを経て 2023 年 9 月にバージョン 1 のフレームワークが公表される予定である。